

第11回 理研バイオリソースセンター リソース検討委員会 諮問事項について
実験植物開発室

日 時 平成24年2月6日（月）14：00～16：40

場 所 富国生命ビル 23階 理化学研究所 東京事務所 大会議室

出席者

（委員等）岡田 清孝 委員長、荻原 保成、鎌田 博、河瀬 眞琴、後藤 伸治、
篠崎 一雄、田畑 哲之、 各委員

（NBRP）佐藤事務局長

（理研側）小幡センター長、阿部副センター長、小林実験植物開発室長、
今泉研究推進部長、村上課長、他

1 実績について

評価コメント

【収集・保存・提供事業の量的・質的向上】

- ・ リソースの収集・保存・提供という基盤の事業のみならず、技術研修・人材育成・広報活動・教育への貢献など多くの方向について、極めて活発な活動実績がある。我が国におけるバイオリソースセンターのあり方について、先進的なモデルとなっている。
- ・ 前回委員会後にリソースの収集（FOX ライン、タグライン、新規植物完全長 cDNA 等）等着実な推進が見られる。
- ・ オルガネラの解析等に極めて有用な GFP 導入形質転換 BY-2 細胞の配布が可能になったことは高く評価できる。
- ・ ミナトカモジグサなど、シロイヌナズナ以外のモデル植物に広げていく方向は評価されるべき、と思われる。
- ・ 進化学的、生態学的方向も考慮されている。

【品質管理】

- ・ 遺伝子材料の長期保存法（冷蔵保存）の開発は、節電に貢献する成果である。

【バックアップ】

- ・ 東日本大震災の経験から、燃料備蓄タンクやジェネレータの増設、水源確保、液体窒素製造装置の設置など、迅速なリスクマネジメント策を実施した点を高く評価する。

【その他】

- ・ 国外の複数のリソース機関と連携を進めていることも将来の展開の視点から適切な活動である。先進国、米国、ヨーロッパばかりでなくリソース関連で開発途上国、特にアジア圏の国、人との連携が図られ日本の存在感を高めることに高い貢献をしている。
- ・ 広報や教育への貢献も広範囲に実施しており、長期的に見たときには重要な活動である。

助言・提言

【その他】

- ・ 生物多様性条約等を考えると、途上国との連携協力は今後重要と思われる。
- ・ 人材の供給と教育レベルのアップを図るよう、またキャリアパス等についても検討して欲しい。
- ・ 理研 BRC からシステム、事業モデルを NBRP に提供できると良いと思われる。
- ・ 新規の技術については研修に加えマニュアルを公開する等、更なる普及に努めて欲しい。
- ・ 共同研究を増やすには、独自技術の開発への努力（人員と予算）が必要ではないかと思

われる。

- 最先端基盤ネットワークとの連携も必要になると思われる（GRENE、クスレスト、さきがけ等）。

2. 次期中期計画及び第3期 NBRP の計画について

【収集・保存・提供業務の量的・質的向上】

- 理研 BRC は NBRP の枠組みの中で、日本全体のロードマップや将来像を描くための中心的役割を担っていただきたい。基生研で準備を進めているバックアッププロジェクトとも連絡を密にしてご協力をお願いしたい。
- モデル植物シロイヌナズナを中核に据えて、他の植物への事業化も含めた展開を図っている点は評価したい。質・量等を維持しながら事業を継続することが最重要課題である。
- シロイヌナズナの位置づけについては、植物研究コミュニティの関心のある研究分野や研究手法を注視しながら対応していく必要があると思われる。整備するリソースの内容とそれに付加する情報の正確さと内容の豊富さがユーザーの利用意欲を誘う鍵になるだろう。
- 計画の中で、どのような種に優先度を与えるか、具体的な目標設定が必要ではないかと思われる。
- 近縁種の収集によりシロイヌナズナの起源を解明する研究を支援して欲しい。
- 薬用植物培養株等、失われつつあるリソースを是非とも積極的に収集・保存・提供して欲しい。
- 新たな植物種をリソースとして成立させるためには一定のサイズの研究者コミュニティが、リソース開発と利用拡大には国際コミュニティとの連携が必要である。
- 新しいバイオリソースの開発にとって有用な技術開発にも積極的に関わり、さらにその技術を応用研究・実用研究にも使ってもらえるような試みが重要と思われる。

【その他】

- バイオリソースに関わる人材育成の点でも国内外の拠点になって欲しい。
- 多分野にわたる国内機関との連携を密にしたうえで国協連携を進める体制が必要と思われる。
- ABRC と NASC とのリソースの交換への対応、1001 ゲノム解析との関係も検討が必要と思われる。
- 教育用リソースなど国民への還元も視野に入れる姿勢を続けて欲しい。

以上